

広がる水紋のように

Sustainability at Suntory

SUNTORY

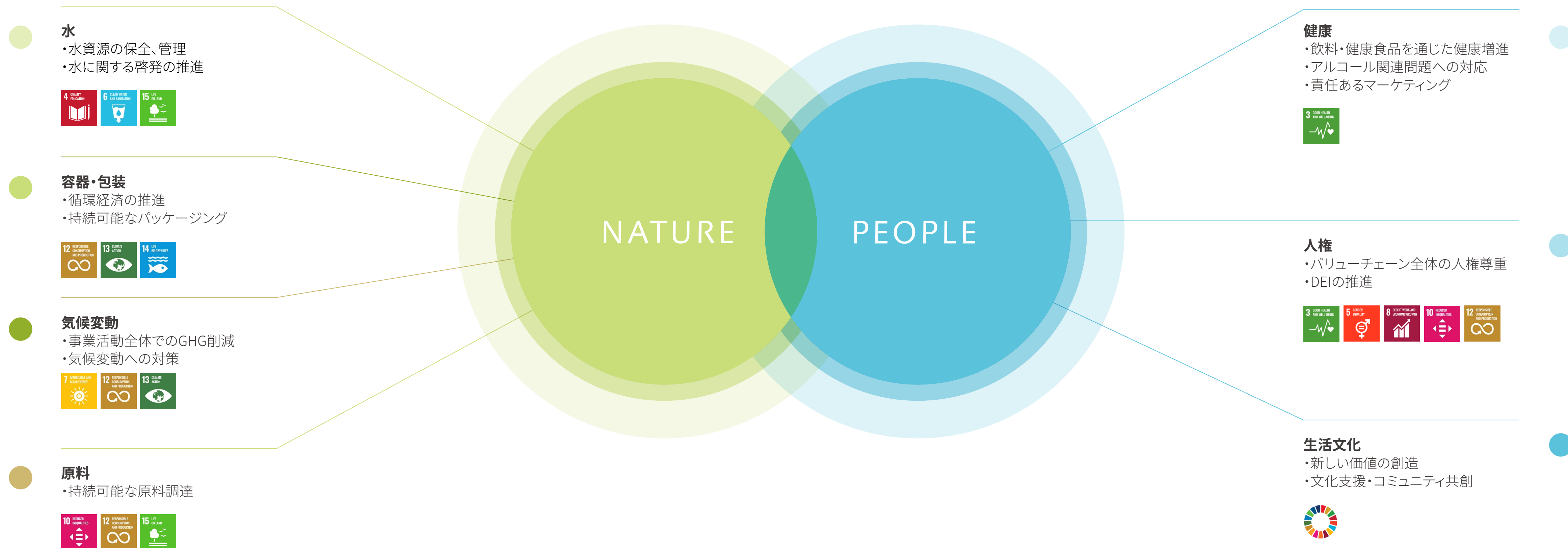


私たちの サステナビリティ・ビジョン

人と自然と響きあう社会の実現へ

サントリーグループは、水や農作物など自然の恵みに支えられた食品酒類総合企業として、自然環境を守り育て、人々の生活を潤い豊かにすることが共存し、すべての生命が輝ける社会を、皆さまと共にめざします。

そのために、私たちは、7つのサステナビリティ・テーマへの取り組みを進めています。



Contents

4

すべての
はじまりは水

5

循環の
一部として

6

持続可能な
パッケージを

7

脱炭素化に
向けて

8

新たな価値で
生活文化を
つくる

9

いつも地域・
コミュニティと
ともに

10

すこやかな
暮らしを支える

11

すべての人の
人権の尊重

12

そして、
誰もが
輝くために

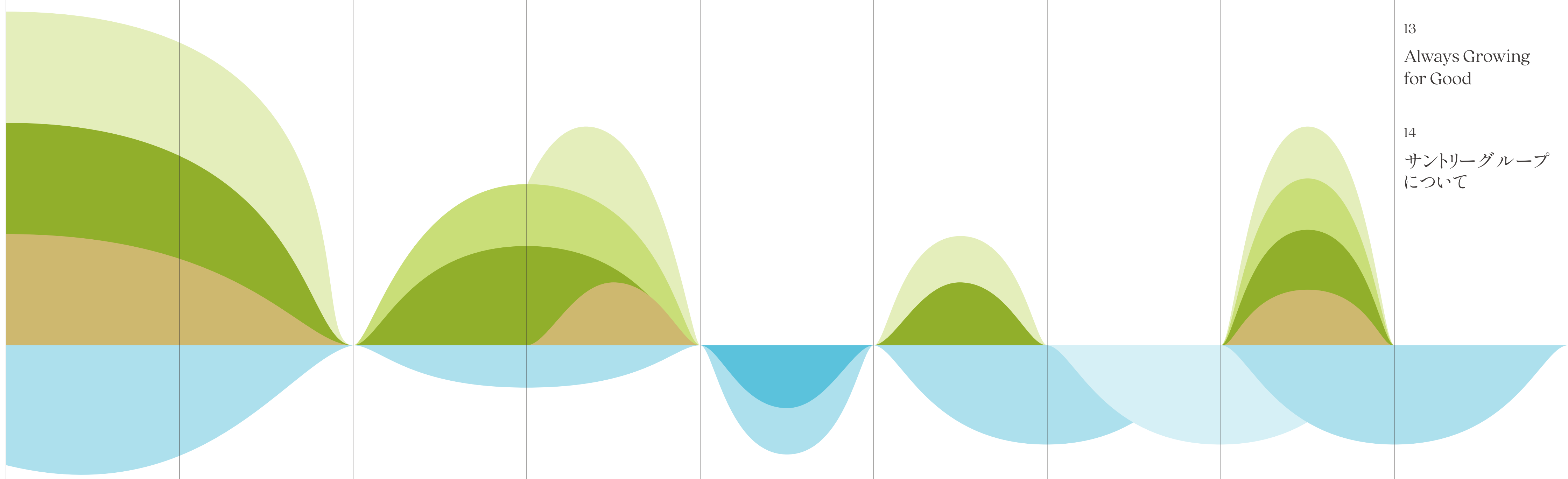
13

Always Growing
for Good

14

サントリーグループ
について

- 水
- 容器・包装
- 気候変動
- 原料
- 健康
- 人権
- 生活文化



すべての始まりは水

私たちの生命の源であり、この惑星を支える水。
水は、空と大地の間をたえまなく動き、循環しています。自然も、私たち人間の営みも、
変わることのない水の流れとともにあります。

水と自然と響きあいながら生きる時、新たな視点による歩みが、
持続可能な未来へとつながるヒントをもたらす。サントリーグループはそのことを知っています。
雲の上の小さな水滴から、力強い川の流れ、そして雄大な海の美しさまで、
水は私たちを未だ見ぬ場所にいざないます。

たえまなく流れる水循環の営みは、持続可能な未来に向けた取り組みが
地球やそこに住むいきものたちの恵みとなるよう、私たちに多くの気づきを与えてくれます。
水がたえまなく流れるように、私たちサントリーグループも前進を続けます。

①

原料生産における持続可能な水の使用

2030年目標: 水ストレスの高い地域における水消費量の多い重要原料（コーヒー、大麦、ブドウ）の生産における水使用効率の改善をサプライヤーと協働で推進。

2024年の進捗: 再生農業による大麦生産の取り組みの一環として、土壌の保水性向上による水使用効率の改善に関する検証をサプライヤーと協働して実施。

②

水源涵養

2030年目標: 自社工場¹の半数以上で、水源涵養活動により使用する水の100%以上をそれぞれの水源に還元。特に水ストレスの高い地域においてはすべての工場で上記の取り組みを実施。

2024年の進捗: 自社工場全体の36%、内、水ストレスの高い地域の自社工場の31%で目標を達成。

¹ 製品を製造するサントリーグループの工場：国内24工場、海外45工場

循環の一部として

水は人々の生命や生活を支える上で貴重な資源であり、サントリーグループの企業活動の源泉です。私たちは、空と大地との間に生じる無限の水循環を守るために、真摯に取り組んでいます。自社の生産拠点を超えて、流域のステークホルダーと協力し、「2030年環境目標」を達成することで、健全な水循環に貢献していきます。

③

工場節水

2030年目標: 自社工場²の水使用量の原単位をグローバルで35%³削減。特に水ストレスの高い地域においては、水課題の実施を評価し、水総使用量の削減の必要性を検証。

2024年の進捗: 自社工場での生産における原単位を2015年比で30%削減。

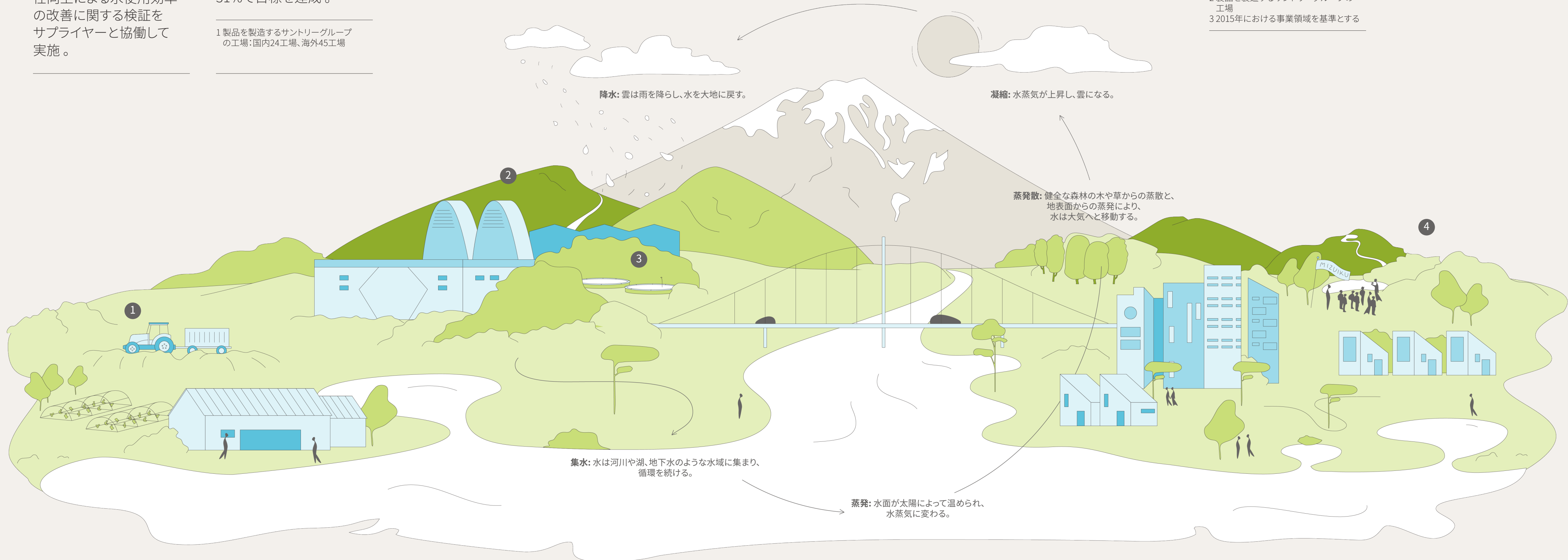
² 製品を製造するサントリーグループの工場
³ 2015年における事業領域を基準とする

④

水に関する教育と安全な水へのアクセス

2030年目標: 水に関する啓発プログラムに加えて、安全な水の提供にも取り組み、あわせて500万人以上に展開。

2024年の進捗: 延べ1,750,000人に展開（2004年から2024年）。



持続可能な パッケージを

水がそうであるように、私たちは資源が循環することを大切にしています。つくったものがまた再生する、循環し続けるためのつながりを考えることは、短期的な効率性にとどまらず、長期的な視点で物事を捉え、新たな価値を生み出すことに繋がります。

地球と人類の双方が持続可能であるためには、お互いの調和が不可欠です。私たちは、パッケージに関する環境負荷を最小限に抑えるため、リサイクル可能な素材を開発し、原材料使用量を減らし、そして、人々の行動変容を促すなど、商品の生産から、それがお客様の手にわたり、廃棄後にいたるまで、それぞれの段階で包括的な取り組みを行っています。



1

Innovation

再生プラスチックや植物由来等のサステナブル素材による新しいペットボトルの製造方法を開発しています。

2

Recycle & Renewable

環境負荷を低減するため、使用済みペットボトルを新たなペットボトルにリサイクルする、水平リサイクルに取り組んでいます。

3

Reduce & Replacement

容器包装のデザイン変更などにより、プラスチック使用量の削減に取り組んでいます。

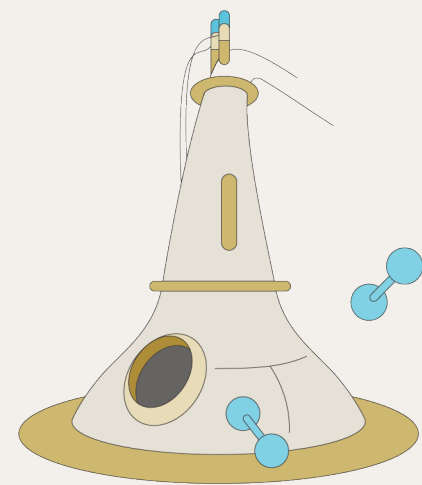
4

New Behavior

小学生にペットボトルのリサイクル啓発活動を行っています。

2030年目標: すべてのペットボトルを、リサイクル素材や植物由来素材等のサステナブル素材に切り替える。

2024年の進捗: 使用ペットボトルの35%をサステナブル素材へと切り替え完了。

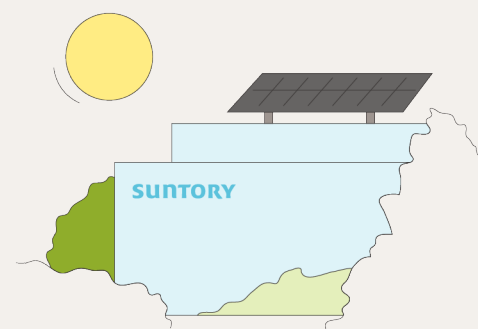


Scope 1 & 2

世界初¹ 100%水素によるウイスキー直火蒸溜実証実験

山崎蒸溜所内のパイロットディスティラリーにて、世界で初めて水素による直火蒸溜ウイスキーの実証実験に成功しました。これは、ものづくりの品質を維持しながら、ウイスキー製造の脱炭素化を目指す、私たちの大きな一歩です。

1 KL以上の蒸溜釜でのウイスキー「直火蒸溜」において(サントリー調べ)

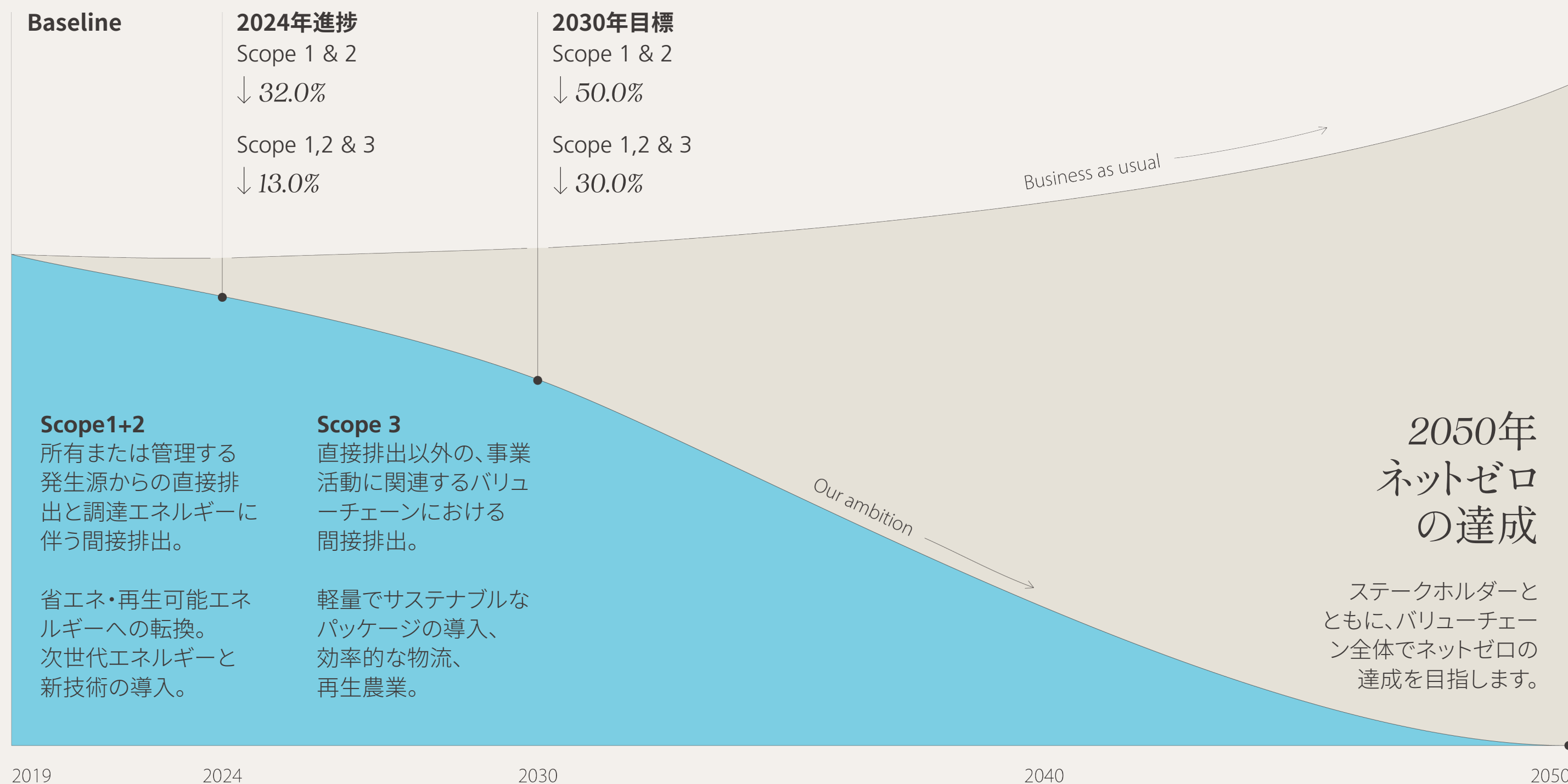


Scope 1 & 2

カーボン・ニュートラル認定工場

北アルプス信濃の森工場は、食品・飲料工場として日本で初めてカーボン・ニュートラルを達成した工場です。より透明性が高く、責任ある生産活動をリードしています。

脱炭素化に向けて



2050年にネットゼロを達成するための鍵は、私たちの日々の取り組みの積み重ねにあります。どんなに広大な海も、一つ一つのしずくが集まって成り立っているように。それは、大きな目標を達成するためには、日々の一貫した努力が大事だということを私たちに思い出させてくれます。

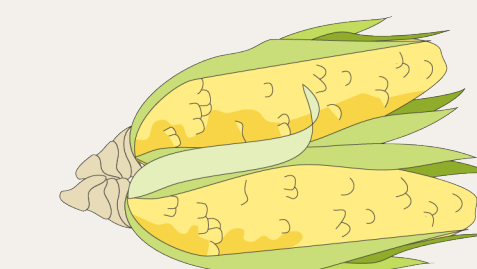


Scope 3

100%リサイクルアルミ缶

サントリーのザ・プレミアム・モルツの限定版は100%リサイクルアルミ材²を使用することで、通常のアルミ缶と比較し二酸化炭素排出量を60%³削減しました。

2 缶材由来のリサイクルアルミのみを使用し、商用化されたステイオンタブ缶として。
3 サントリー調べ



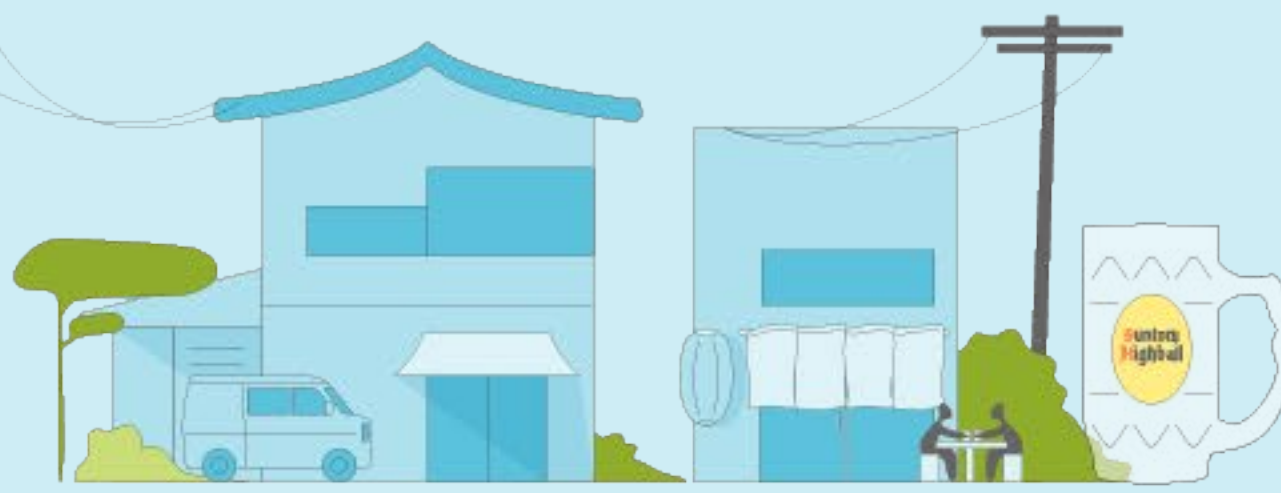
Scope 3

再生農業パイロットプログラム

カバークロップや不耕起栽培などの手法で、土壌の生態系を再生し肥沃度を高める再生農業は、化学肥料や農薬への依存を減らし、温室効果ガスの削減に繋がります。トウモロコシ、大麦、アガベの産地で再生農業のパイロットプログラムを進めています。

1907

今日のサントリーの礎となる「赤玉ポートワイン」を発売。



2009

ウイスキーハイボールのリバイバルを主導。



2021

「社長のおごり自販機」サービスを開始。



2022

ビール市場に新しい風を吹き込む「ピアボール」を発売。



新たな価値で 生活文化をつくる

どんな環境でも柔軟に変化しながら、決して流れをとめることのない水のように、私たちと社会や文化との関わりもしなやかに、そして途切れることなく続いてきました。創業から120年以上、私たちの原動力は常に、商品を通じて人々に喜びを与え、生活を豊かにしたいという情熱でした。これからも、お客様のくらしのまん中に新しい価値を届け、私たちの商品から世界に新たなトレンドや文化を創造していきます。

1929

日本初の本格ウイスキー「サントリーウイスキー白札」を発売。



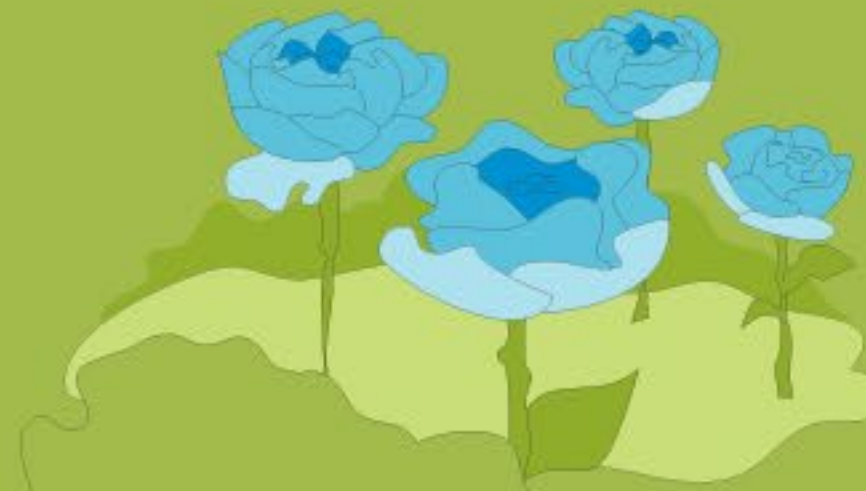
1996

「セサミンE」の発売とともに、健康食品事業を開始。



2004

「不可能」と考えられていた世界初の青いバラをバイオ技術で実現。



いつも地域・ コミュニティと ともに

自然界は、常に変化しその営みを維持しています。生物、システム、環境は生命に溢れ、呼応しながら進化していきます。そしてそれは、時代もまた変わり続けていることを私たちに教えてくれます。

同じように、社会課題もまた時代の変化に合わせ、変わっていきます。サントリーグループは、創業から120年以上、事業で得た利益は、事業への再投資にとどまらず、お客様へのサービス、社会に還元するという「利益三分主義」を私たちの価値観として変わることなく引き継いできました。私たちは、これからも、変わり続ける時代の中で、変わらない価値観を胸に、目の前の社会課題に地域・コミュニティとともに向き合い続けていきます。



1

「利益三分主義」の 原点

サントリーの「利益三分主義」の精神は、創業者である鳥井信治郎が大阪に生活困窮者のための無料診療所「今宮診療所院」を開設した1921年までさかのぼります。この取り組みは、現在、高齢者の介護と乳幼児の保育事業を提供する社会福祉法人邦寿会に受け継がれています。

2

困難に直面する人々に 寄り添う支援

チャレンジド・スポーツ（障がい者スポーツ）の支援や災害被災地支援に加え、困難に直面する子ども・若者が夢や希望を持てるよう、居場所づくりや体験格差解消の取り組みを通じた次世代エンパワメント活動を推進しています。

3

文化・芸術・学術・ スポーツ振興

一人一人が心豊かなくらしを実現できる社会に貢献するため、サントリー美術館やサントリーホールにおける芸術文化体験の提供をはじめ、学術研究の助成や地域文化の顕彰、生命科学研究者支援など、様々な活動を行っています。また、ラグビーやバレーボールチームによるスポーツ振興も行っています。

4

従業員のボランティア 活動の推進

私たちは、従業員のボランティア活動への参加を推進しています。「Together for Good」の活動を通して、多くの社員が世界各地でゴミ拾いや植樹など、さまざまなボランティア活動に参加しています。

機能性および低糖・無糖飲料製品

低糖・無糖飲料の拡充に加え、研究に基づく特定機能性表示食品のポートフォリオ拡大を推進しています。



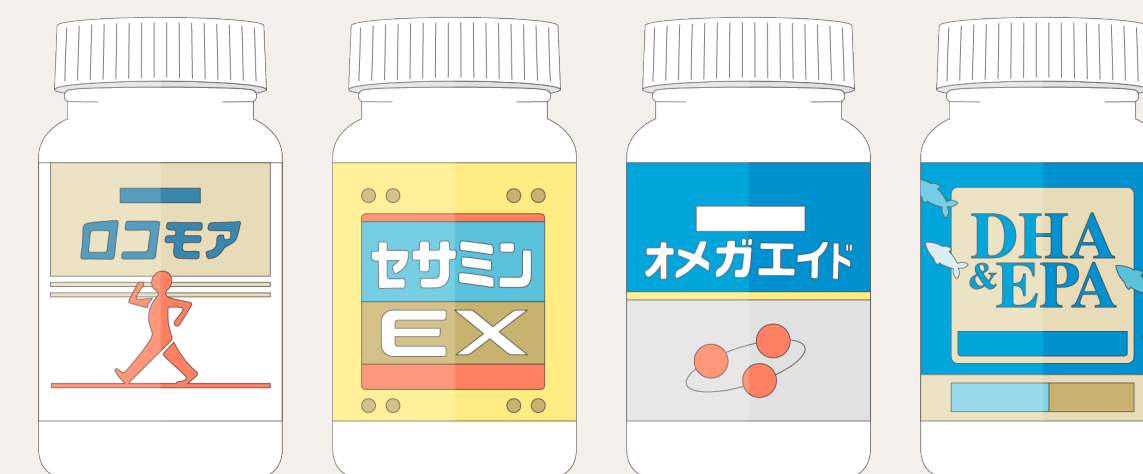
低アルコールおよびノンアルコール飲料製品

低アルコールおよびノンアルコール製品を拡充し、お客様が生活を楽しむための多様な選択肢を提供しています。



健康食品およびサプリメント

長年の研究に基づいた健康食品の開発を推進し、お客様の健康に貢献するため、その効果を科学的に最大化できるよう取り組んでいます。



すこやかな暮らし
を支える

私たちは、お客様の暮らしを心豊かで喜びあるものにするため、新たな価値を持つ製品のイノベーションを進めてきました。また、「ドリンク・スマート」プログラムを通じて、責任ある飲酒に関する意識の向上にも努めています。

川の流れが大地を潤すように、私たちの商品も、お客様の生活に寄り添い、さまざまなシーンに幸せをとどけています。

すべての人の 人権の尊重

自然界の複雑な営みが、そこにある一つ一つの生命の支え合いで成り立っているように、私たちは、サントリーグループに関わるすべての人たちとの間に、敬意、透明性、信頼の上に築かれた関係をつくることを大切にしています。

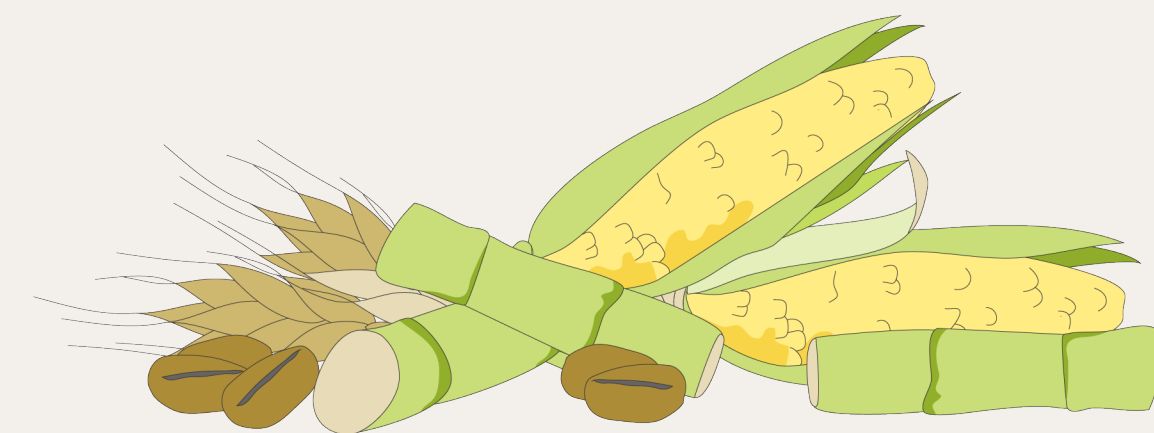
私たちは、従業員、サプライヤー、地域社会、NGOなど、さまざまなステークホルダーとの対話と協力を通じて、事業に関わるすべての人の人権を尊重するよう努めています。

ウガンダのコーヒー 農家支援の事例



ウガンダのコーヒー農家において、パートナーと協力し、ストーブや浄水フィルターの提供、生活向上を目指した農営指導などを通じて、環境や人権を尊重する活動を推進しています。

サプライヤー・リスク評価



800 1,200

の原料サプライヤー の評価を実施

パートナーとともに、原料から始まるサプライチェーンのリスクアセスメントを実施しています。

の製造拠点の評価 を実施

基準が満たされていることを確認するため、それぞれのサプライヤーの生産拠点においても評価を実施しています。

是正に向けた 取り組み

アセスメントで発見された課題に対して改善活動を推進し、負の影響をなくすことに努めています。

モニタリング

アセスメントおよび是正ステップでの進捗をモニタリングしています。

情報開示

人権デュー・ディリジェンスの進捗を定期的に開示し、透明性を担保しています。

そして、誰もが 輝くために

生態系では、多様な生き物が存在し、そのすこやかな調和を保っています。それは、異なる強みを持ち寄り、成長する環境を作り出すための Diversity & Inclusion の力を象徴しています。そしてこれは自然だけではなく私たち人間にもあてはまります。

Diversity, Equity & Inclusionを受け入れ、体現することは、私たちが従業員としてだけでなく、より広いコミュニティの一員として輝く道しるべです。

DEI Vision Statement

私たちは皆サントリアンであり、一人ひとりが特別な存在です。勇気を持ってDiversityとEquityを受け入れ、Inclusion文化を創造します。失敗を恐れず、好奇心を抱き、私たち全員が自分らしくあり続けることが仲間、お客様、社会への貢献へとつながります。やってみなはれ!

DEI マネジメント

DEI Vision Statementのもと、経営リーダー層と従業員一人ひとりが、アンコンシャス・バイアスやインクルーシブ・リーダーシップについての研修を通じて、多様でインクルーシブな職場環境づくりを推進します。

ジェンダー・エンパワーメント

育児、健康管理、研修、キャリア・カウンセリングなどのサポートを通じ、働きやすい職場制度を提供することで、男女問わずそれぞれの潜在能力を発揮できるよう支援しています。また、マネジメントや意思決定に関わる女性を増やしていくよう、育成と登用を推進しています。

LGBTQ+

LGBTQ+の認知度を高め、アライの輪を広げる活動を地域コミュニティと連携して世界各国で推進しています。

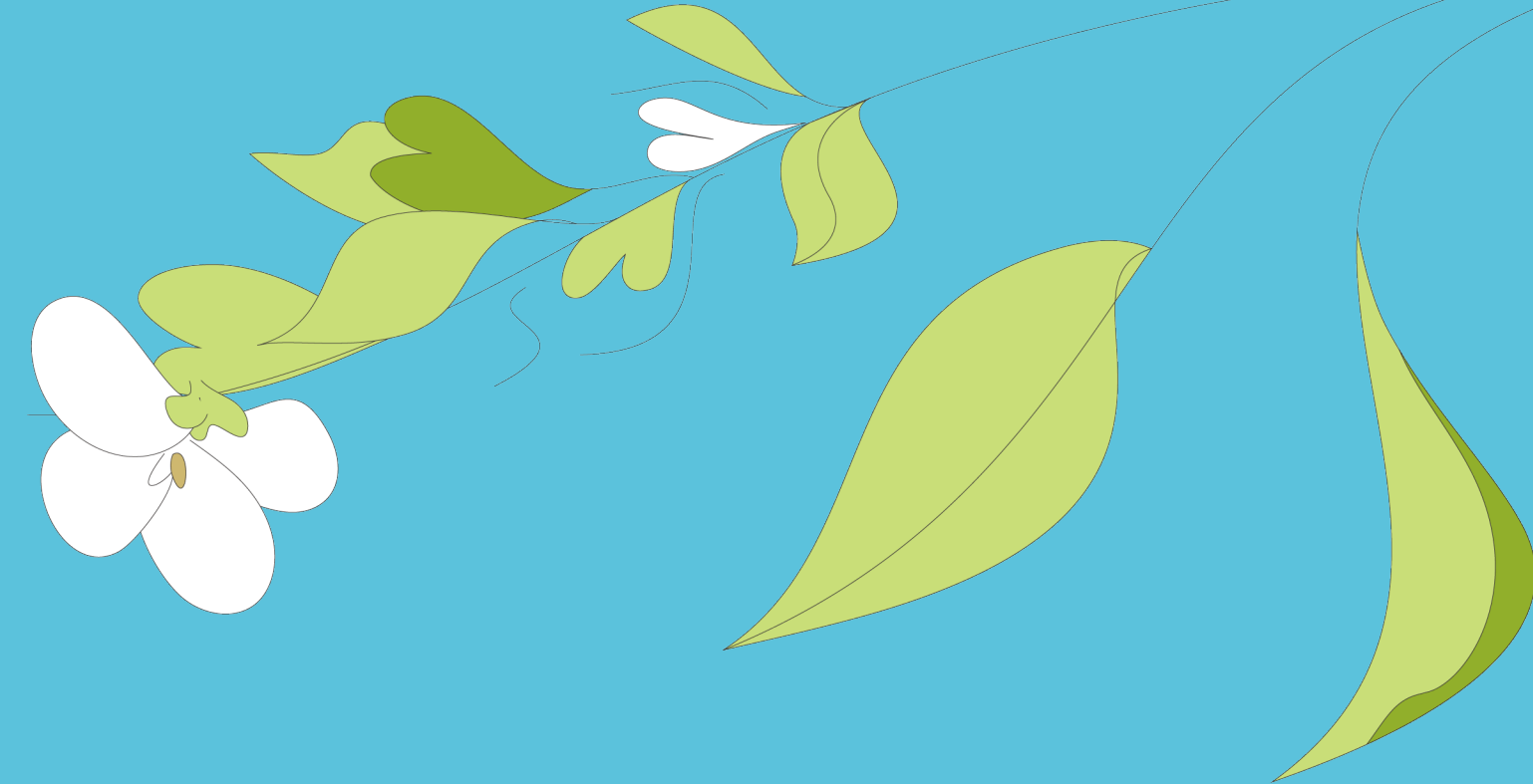
障がいを持つ従業員の雇用

日本では、「コラボレイティブセンター」という部署を立ち上げ、特別支援学校などを卒業した知的障がいのある社員が、可能性を最大限広げるための新たなチャレンジを他の従業員と協力しながら行っています。

従業員ネットワーク

社員グループやアライネットワークを通じて、帰属意識を育むとともに、仲間との対話を通じて、社内外の様々な課題に対する新たな視点を提供しています。

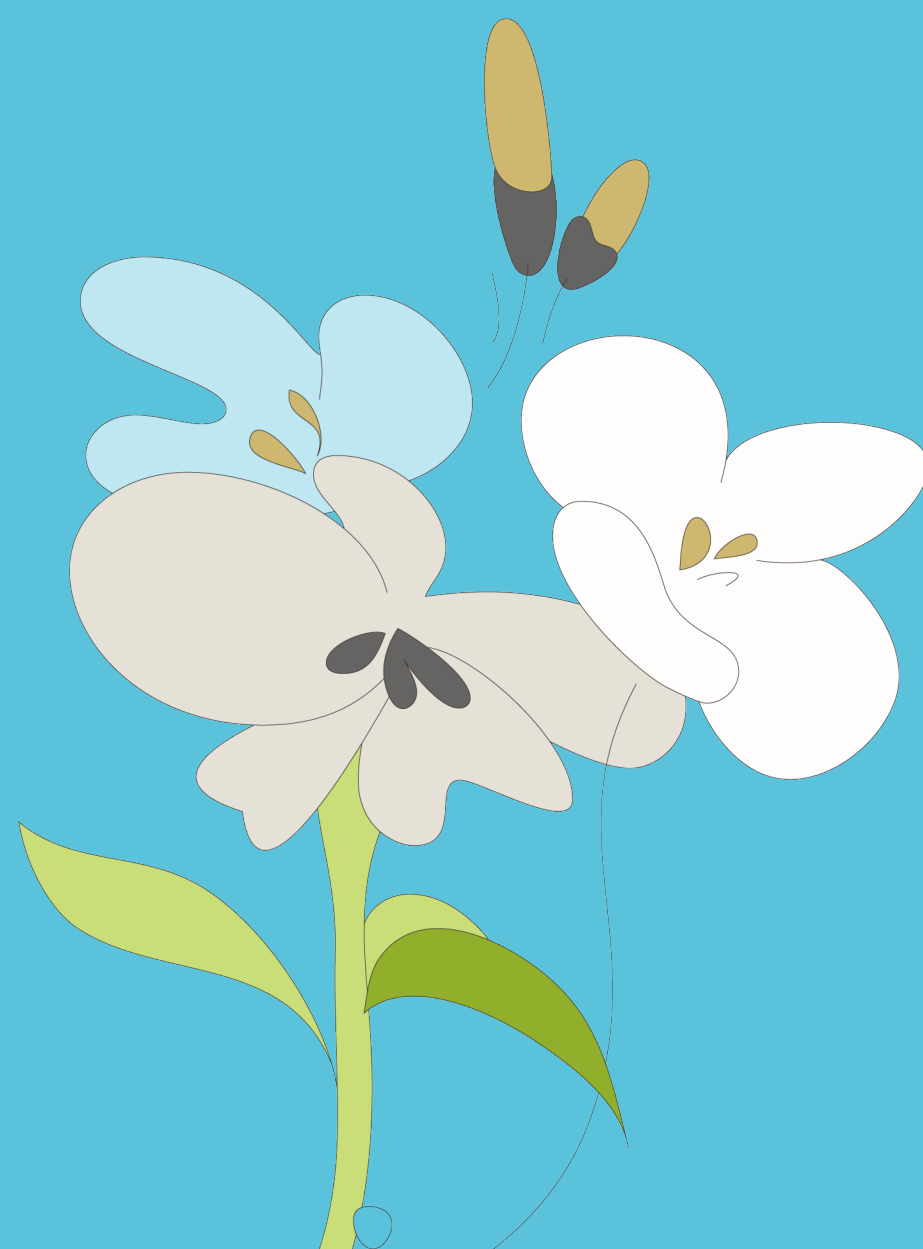




Always Growing for Good

私たちは、自然への尊敬と感謝を忘れず、自らの経験を分かち合い、
環境や人々から学び続けていきます。
そうすることで私たちは、人として、企業として
より良い成長を続けることができると考えています。

今日、私たちが直面する課題の多くは、複雑に絡み合い
簡単に解決できるものではありません。
それでも私たちは、志をともにするステークホルダーと手を携え、
より良い方向へと前進していきます。
なぜなら、コラボレーションにこそ、人と自然が響きあい
生命が輝く未来をつくる鍵であると信じているからです。



サントリーグループ について

サントリーグループは、「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、『人間の生命(いのち)の輝き』をめざす。」という企業パーパスの実現を目指しています。自然と水の恵みに支えられ、サントリーグループならではの多彩な商品ラインナップを展開しています。1899年に創業したサントリーグループは、アジア・オセアニア、欧州、米州など、世界各国で幅広く事業を展開するグローバル企業へと成長し、2024年の売上高は、3兆797億円に達しました。

<https://www.suntory.co.jp>

人と自然と響きあい、
豊かな生活文化を創造し、
いのち
「人間の生命の輝き」をめざす。

Growing for Good

人として、企業として、社会のために成長し続けること。成長し続けることで、社会を良くする力を大きくしていくこと。

やってみなはれ

失敗を恐れることなく、新しい価値の創造をめざし、あきらめずに挑み続けること。

利益三分主義

事業活動で得たものは、自社への再投資にとどまらず、お客様へのサービス、社会に還元すること。

①

わたしたちの目的

サントリーグループが事業を営む目的、企業としてめざす方向性

②

わたしたちの価値観

目的を実現するために、すべての社員が大切にすべき価値観

